

授 業 名	臨床実習Ⅱ	授 業 形 態	実 習
		配 当 学 期	2 年(前期)
担 当 教 員 名	沖田 任弘、水谷 貴佐、山田 真輔 落合 慶之、平塚 将嗣、中村 侑造	単 位 数	2 単 位
		時 間 数	90 時 間
概 要	<p>理学療法士にとって一番の基礎となる検査測定技法について、臨床実習指導者の指導・監督のもとで実践し総合的に学習する。その他の事項および実習の詳細については、別途配付する「臨床実習手引き」による。</p> <p>◎ 内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者とのコミュニケーションの実践 2. 検査測定技法の実習 <p>◎ 実習期間</p> <p>検査測定実習(2 週間)</p>		
評 価 方 法	<p>① 評価表による最終評価を点数化(A:10点、B:8点、C:6点 D:4点)した平均点。</p> <p>② 実習後セミナーにおける発表時の他者質問に対する返答の可否(割合)と、他者発表に対する質問の程度(割合)を10点満点で算出。</p> <p>③ 客観的臨床能力試験(OSCE)を10点満点で算出。</p> <p>①～③の平均点が8点以上～10点:A、7点以上～8点未満:B、6点以上～7点未満:C、6点未満:Dとする。</p>		
教 科 書 参 考 図 書	〔教科書〕臨床技能と OSCE (コミュニケーションと介助・検査測定編) 金原出版		
履 修 上 の 留 意 点	臨床現場での実習であるため、態度・服装等に細心の注意を払い、学生らしく真摯な態度で取り組むこと。また、個人情報等を元とする各種の現場での規約を遵守し、社会人として恥ずかしくない行動を取ること。		
メ ッ セ ー ジ	常に適度な緊張感をもち実り多い実習にしてください。		